広報誌

山口宇部医療センターだより

vol.
66
2024
August

take free

保育園の傍の大きな木は保育園児達をいつも見守っています＾＾

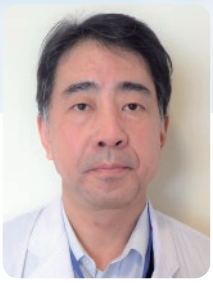
特殊外来特集

P2 低線量CTによる肺がん検診について
P4 乳がん検診を受けよう!!
P6 呼吸器疾患看護専門外来紹介
P7 ●第41回 市民公開講演会「がんフォーラム」開催案内
●特殊外来・健康教室案内
P8 ●外来診療担当医表

独立行政法人 国立病院機構
山口宇部医療センター
山口県特定領域がん診療連携推進病院（肺がん）
〒755-0241 山口県宇部市東岐波685番地
TEL.0836-58-2300㈹ FAX.0836-58-5219
https://yamaguchiube.hosp.go.jp/

特殊外来
特集

低線量CTによる (low-dose CT: LDCT) 肺がん検診について



放射線科　田中　伸幸

1998年以来、日本では、がん死亡のトップが肺がんであることが報告されており、肺がんによる死亡を低下させるためには、禁煙とともに、**早期肺がん発見による早期治療が最も大事です。**

現在、日本では、肺がん検診においては、40歳以上の男女に対して年１回の胸部X線写真及び重喫煙者に対する喀痰細胞診の併用が推奨されています。しかし、肺がん病変に対する画像診断の精度においては胸部CTが胸部X線写真よりも明らかに優れています。

胸部X線写真では、小さくて淡い早期の肺がん、心臓などの陰に隠れた肺がんを発見することは困難な場合があります。それに対して、CTは解像力に優れ、死角がなく、**小さくて淡い病変（治癒可能な早期の肺がん）を検出することができます**（図１）。

1990年代から、肺がん検診にCTを用いる研究が行われ、日本の研究者が大きく貢献してきました。通常診療で用いる線量に比べ、格段に**低線量でのCT撮影（low-dose CT、以下、LDCT）**により、放射線被曝を低減しながら十分な画質が得られること、LDCT検診により胸部X線検診の10倍程度の肺癌が発見でき、**LDCT検診により**

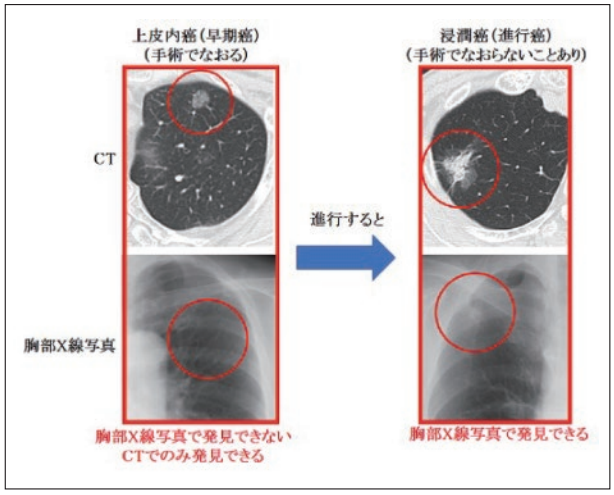


図１

発見された肺癌は早期症例が多く、切除成績が良好であること、がわかってきました。しかし、欧州で行われた複数の小規模な臨床試験では、早期肺がん症例が多く発見されているものの、それによる進行症例や死亡例の減少が認められず、肺がん死亡減少効果、すなわち、LDCTの有用性は証明されませんでした。

その後、2011年に米国から、6施設共同で行われたNLST (National Lung Screening Trial) が報告されました。55～74歳の重喫煙者の男女53,454名をLDCT検診群と胸部X線写真による検診群（X線検診群）にランダム割付し、年1回のそれぞれの検診を3年間行った所、X線検診群に比べて、**LDCT検診群では、肺癌死亡率が20%、すべての原因による死亡率が6.7%減少し、LDCT検診の有用性が初めて証明されました。**

また、オランダとベルギーで行われた臨床試験は、Nelson studyと呼ばれ、2018年の世界肺癌学会で結果が一部公表され、2020年には、New England Journal of Medicineに発表されました。この研究では、50～74歳の重喫煙者の男女15,792名（男性13,195人）をLDCT群と通常診療群（検診を行わない群）とにランダム割付けし、LDCT群は、開始時、1年後、3年後、5年半後にCT施行しました。その結果、**10年後の肺がんによる死亡率は、男性で26%、女性で39%低下**しました。この試験では、結節の体積や倍加時間も評価することにより、疑陽性が少なく、要精検率や陽性反応的中度が、NLSTの結果よりもかなり優れていました。

これらの報告をもとに、今後、世界中で、LDCTによる肺癌検診が行われて行く事が予想されます。実際、米国では、NLSTの報告後、米国内の多くの学術団体がガイドラインにおいてLDCT検診を推奨し、公的医療保険であるMedicareによる無償提供が決定されました。ただし、注意すべき点もあります。第一に、確実に低線量でなされていることが必要で、肺癌学会によると、「低線量」の具体的な定義は、2.5mSv 以下とされていますが、可能な限り、1mSv程度でなされることが望まれます。当院では、1mSv程度の線量で施行されています。また、若年者では、被曝の問題も無視出来ず、45歳以下では、被曝によるリスクがベネフィットを上回るとされています。また、女性では特に被曝によるリスクが男性より高いので、**当院では、対象者を45歳以上の男性、および、50歳以上の女性**としています。

小さな肺がんを見つけることは肺がんが治るだけではなく、**手術方法として体に優しい胸腔鏡下手術等の低侵襲手術の選択も可能**になります。さらに肺気腫、慢性呼吸器疾患、間質性肺炎等の病変も同時に検出できます。**当院の呼吸器専門医の診断により、肺がんのみならず、発見された肺疾患に対して、正確な診断と治療が受けられます。**詳しくは、以下を参照ください。

低線量CTによる肺がん検診

対象者	45歳以上の男性、および、50歳以上の女性
検診日	平日（月～金）：12時～19時／第4土曜日10時～12時
要予約	予約受付時間帯：平日 8時30分～17時 電話予約：tel.0836-58-2300 窓口予約：初診受付窓口で予約ができます
検査結果報告方法	実施後1週間以内に文書にて患者さんのご自宅へ郵送されます
自己負担額	7,700円（税込）　※保険診療適応外
検査所要時間	10分程度

ホームページ

特殊外来
特集

乳がん検診を受けよう!!

乳腺・消化器外科　平澤　克敏

「乳がん検診？ 痛いし恥ずかしいし、触ってもなんもないし、親戚にも乳癌はいないから無理に行かなくても、、、」お気持ちはわかりますが、ちょっと立ち止まって考えてみましょう。そもそもがん検診の目的は症状が出ていないうちに検査を行うことでなるべく早い段階で癌を発見し、治療を行うことで治癒を目指し、癌による死亡率を下げることにあります。

2019年の集計には、**女性の11.2%（約9人に1人）*1)**が一生のうちに乳がんに罹患すると記載されています。2002年時点では女性の乳がんの生涯罹患率は5.3%（約19人に1人）*1)であり、ほぼ2倍に増えています。乳がんはより身近な病気になったと言えるでしょう。家族に乳がん患者がいないからと言って決して安心はできないのです。（日本人で遺伝が原因と考えられる乳癌（遺伝性乳癌）は全体の5～10%と言われています）

検診のメリットは先ほども述べたように、早期発見から早期治療につないでいくことです。実際に、10年生存率（乳がんを発症した人が10年後に生存している割合）はStage I（臨床病期。数が少ないほど早期の癌）では88.6%ですが、Stage IIで81.0%、Stage IIIで60.0%、Stage IV（遠隔転移あり）になると15.1%*1)とStageが進むにつれ低くなっています。（グラフ1）

ところで、日本乳癌学会の集計では、乳癌と診断された人の半数以上（51.0%）はご自分で異常を発見して病院を受診されています。全く症状がなく、検診で初めてがんと診断された方は28.1%でした。これを多いと考えるか少ないと考えるかは意見の分かれるところかもしれませんが、次のような集計結果もあります。

同じく日本乳癌学会の集計で、**自己発見の方では診断時Stage IIの方が42.4%と最も多く**、次いでStage I:33.6%、Stage III:11.1%、Stage IV:2.6%となっています。一方、**無症状で検診発見の方では診断時Stage Iの方が57.0%**で半数以上を占め、Stage 0（非浸潤癌：理論的には転移しないとされる早期癌）の方が24.3%と2番目に多い割合となっています。（表1）

乳がん検診を受けて精密検査が必要とされる割合は5%前後です。実際に癌と診断されるのは全体の0.5%程度ですが、**特に50歳以上（～74歳）の方では検診を受けることで死亡率が約25%減少するという解析結果があります。**40歳代ではやや効果は落ちますが相応の死亡率減少効果があるとされています。以上のことから、検診の重要性をお分かりいただけたのではないでしょうか。

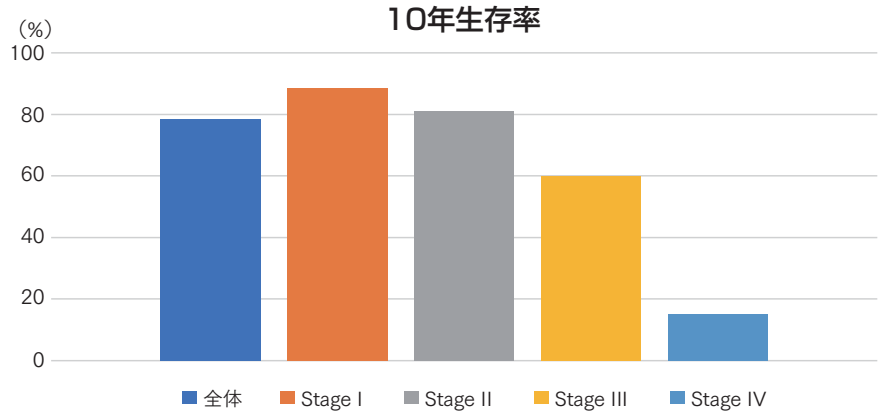
では実際にどれぐらいの方が検診を受けておられるのでしょう？ ドキッとされた方多いと思います。2019年の乳癌検診の受診率は全国平均が47.4%です。**山口県は35.4%で最下位**でし

発見状況と臨床病期（日本乳癌学会HPより）

（表1）

	自己発見（%）	検診（自覚症状あり）（%）	検診（自覚症状なし）（%）	その他/不明(%)
Stage 0	4,085(8.5)	747(13.3)	6092(24.3)	2,759(19.0)
Stage I	16,114(33.6)	2,436(43.6)	**14,333(57.0)**	6,965(47.9)
Stage II	**20,319(42.4)**	1,918(34.2)	3,912(15.6)	3,202(22.1)
Stage III	5,334(11.1)	337(6.0)	308(1.2)	712(4.9)
Stage IV	1,256(2.6)	64(1.1)	68(0.3)	298(2.1)
不明	859(1.8)	103(1.8)	394(1.6)	578(4.0)
合計	47,967(100)	5,605(100)	25,107(100)	14,514(100)

（グラフ1）



た。ちなみに全国トップは山形県で61.0%です。山形県は乳癌の死亡率が人口10万人に対して6.9人で全国で2番目に低いのです。*1）

現在の乳がん検診は対策型検診であり、検診費用には公的資金が投入されています。40歳を過ぎると2年に1回クーポンが送られてきますよね。これは検診の受診率を上げて対象集団全体の死亡率を下げるのが目的なのです。検診で対象集団の死亡率を下げるには海外の例から60%程度の受診率が必要とされており、国の「がん対策推進基本計画（令和5年、第4期）」においても60%以上の達成が個別目標の一つに掲げられています。残念ながら、乳癌検診で推奨されている検査方法は現在のところマンモグラフィのみですが、2年に1回だけ何とか我慢していただいて検診を受けるようにしてください。40歳代では2方向撮影ですが、50歳を過ぎると1方向だけの撮影になるのでちょっとだけ楽になるかもしれません。

蛇足ですが、テレビCMでたまに「検診を受けて（癌を）予防しよう」というセリフを目にすることがあります。これは間違いで、検診で癌やそのほかの病気を予防することはできません。冒頭にも書きましたが、早期発見することで癌による死亡（や再発）を予防することはできると思います。

＊1）国立がん研究センター がん対策研究所
がん情報サービス　がんの統計より

乳がん検診

推奨年齢	40歳以上の女性（2年に1回実施）
検診日	平日（月・金曜日）　午後1時～
要予約	予約受付時間帯：平日 8時30分～17時 電話予約：tel.0836-58-2300 ／ 窓口予約：初診受付窓口で予約ができます
自己負担額	● 乳がん検診（75歳未満）… 宇部市 1,900円（税込）／美祢市1,200円（税込） ● 乳がん検診（75歳以上）… 宇部市　500円（税込）／美祢市　600円（税込） ※クーポンを使用する場合は自己負担無料　※精密検査の場合は、エコー検査実施（保険適用）
その他	宇部市・美祢市検診以外の乳がん検診も実施可（自費） ● マンモグラフィ …　5,190円（+エコー検査:2,130円）（税込）

特殊外来
特集

呼吸器疾患看護専門外来紹介

※ご本人の了解を得て掲載

呼吸器疾患看護認定看護師
佐伯　達矢

当院では平成26年度に呼吸器疾患看護専門外来を開設しました。

開設のきっかけは呼吸器疾患患者さんへの看護を専門的に行っていくために研修を受けた際に、在宅で療養している呼吸器疾患患者さんに対する看護が十分に行えていないという現状を知ったからです。在宅で療養されている呼吸器疾患患者さんにより専門的な看護が提供できるようにしたいと考え、呼吸器疾患看護専門外来の開設に至りました。

呼吸器疾患看護専門外来では、専門的な知識や技術を持った認定看護師が通院治療中の患者さんやご家族からの療養生活上の相談に対応しております。認定看護師とは、ある特定の認定看護分野において熟練した看護技術と知識を有する者として、日本看護協会の認定を受けた看護師です。

私は慢性呼吸器疾患看護認定看護師の第1期生として所定の研修を終了し、山口県内で初の慢性呼吸器疾患認定看護師として資格を取得しました。その後、令和3年に特定行為研修を修了し、呼吸器疾患看護認定看護師として医師の行う業務の一部を代行できる特定行為も実践しております。

患者さんやご家族に対して行われた全国的なアンケート調査では、「病気が悪化した時の症状を教えてほしい」「療養生活についてもっと教えてほしい」「心理的ケアをしてほしい」等の回答がありました。

呼吸器疾患看護専門外来では患者さんやご家族から在宅での療養状況を確認しながら、**呼吸器疾患の治療において重要な吸入薬の吸入指導や自宅で酸素吸入や人工呼吸器を使用している患者さんへの管理方法の相談対応**を行っています。

また、不安などの心理的問題を感じている方も多いため、**不安軽減への支援**も行っています。活動量が少ない患者さんほど予後が悪いことが証明されているので、**自宅での活動状況の確認を行い、医師や理学療法士と連携して呼吸リハビリテーションのための入院の必要性についての検討**なども行っています。

在宅での療養生活について 相談したいことなどがございましたら初診受付窓口へご相談ください。

呼吸器疾患看護専門外来

実　施　日	平日(第1・3木曜日)　午前
要　予　約	予約受付時間帯：平日 8時30分～17時 電話予約：tel.0836-58-2300 ／ 窓口予約：初診受付窓口 で予約ができます
自己負担額	在宅療養指導料 170点(保険適用) (参考)3割負担：510円 ／ 2割負担：340円 ／ 1割負担：170円
所 要 時 間	30～40分程度

がんフォーラム2024

第41回 市民公開講演会

主催／独立行政法人 国立病院機構 山口宇部医療センター
山口県特定領域がん診療連携推進病院（肺がん）

日時 10月26日土 [開場・受付] 13:00～

場所 山口宇部医療センター 2階 大会議室

事前登録不要
入場無料
〈駐車場無料〉

マスク着用 お願いします

当日のプログラム

13:30～13:35 **開会の挨拶** 山口宇部医療センター 院長 亀井 治人
講演司会／ 山口宇部医療センター 内科系診療部長 近森 研一

13:35～14:00 **第一部**

『当院における肺がん診療と薬物治療』

山口宇部医療センター 呼吸器科医師 上原 翔

14:00～14:55 **第二部 特別講演**

『血液のがんに対する最新治療』

講師 岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科
血液・腫瘍・呼吸器内科学 教授
岡山大学病院 病院長 **前田 嘉信 先生**

14:55～15:00 **閉会の挨拶** 山口宇部医療センター 副院長 田中 伸幸

特殊外来・健康教室案内

令和6年8月1日 現在

特殊外来・健康教室名	場所（診療科）	予約	実施日時	担当
肺癌・中皮腫検診 石綿健康管理手帳検診	画像診断科	○	火・金曜日	松本 常男
じん肺健康管理手帳検診	画像診断科	○	火曜日	松本 常男
宇部市肺がん検診	画像診断科	○	火・金曜日	松本 常男
宇部市胃がん検診	放射線科	○	毎日	田中 伸幸
宇部市骨粗鬆症検診	放射線科	○	毎日	田中 伸幸
乳がん検診（宇部・美祢市含む）	乳腺・消化器外科	○	月・金曜日 午後1時～	平澤 克敏
禁煙外来	内 科	○	火曜日 午後2時～	前田 忠士
家族ケア外来	精神科	○	火曜日 午前（完全予約制）	小野 光弘／長友 隆一郎
呼吸器ドック	呼吸器内科	○	火曜日	前田 忠士
			木曜日	青江 啓介
日帰り人間ドック	腫瘍内科	○	火曜日	前田 忠士
特定検診 渡航時の各種証明及び検査 就業時等の身体検査	画像診断科	○	火・金曜日	松本 常男
CTによる肺癌検診	放射線科	○	平日12時～19時 第4土曜10時～12時	田中 伸幸
睡眠時無呼吸症候群外来	呼吸器内科	○	火曜日 午後2時～3時	坂本 健次
アスベスト小体計数外来	腫瘍内科	×	火・金	青江 啓介
手掌多汗症外来	呼吸器外科	○	水曜日 午前（紹介状必須）	沖田 理貴
てんかん外来	精神・神経内科	×	毎日	小野 光弘
セカンドオピニオン外来	外来診察室	○	毎日（完全予約制）	各種対象疾患担当医
がん相談支援外来	がん相談支援室	×	毎日	がん相談支援室看護師
呼吸器疾患看護外来	外来診察室	○	毎月第1・3木曜日 午前 （完全予約制）	認定看護師
がん看護外来	外来診察室	○	毎日（完全予約制）	認定看護師

山口宇部医療センター
山口がん・呼吸器センター

外来診療担当医表

令和6年8月1日 現在

診療科	概　要	月	火	水	木	金
内科新患外来		青江　啓介 末竹　　諒	近森　研一 兼定　晴香	前田　忠士 柳　　大樹	一山　　康	角川　智之 沖村　昌俊 （午前のみ） 藤井　哲哉 （午前のみ）
内科紹介外来			亀井　治人	亀井　治人		亀井　治人
内科			石田　浩一			石田　浩一
呼吸器内科		坂本　健次 兼定　晴香	恐田　尚幸 久本　優佳里 渡邉　倫哉 米澤　恒成	恐田　尚幸 末竹　　諒 上原　　翔	坂本　健次 兼定　晴香 久本　優佳里 渡邉　倫哉	末竹　　諒 上原　　翔 兼定　晴香 米澤　恒成
腫瘍内科	抗がん剤治療 肺がん 等	前田　忠士 近森　研一 宇都宮　利彰 （午後のみ）	青江　啓介	近森　研一	前田　忠士	青江　啓介
緩和ケア内科	※完全予約制		小笠原　啓子			
放射線科	画像診断・ 放射線治療 等	田中　伸幸 田口　耕太郎 神谷　正喜 平澤　克敏	田中　伸幸 田口　耕太郎 神谷　正喜	田中　伸幸 田口　耕太郎 神谷　正喜	田中　伸幸 田口　耕太郎 神谷　正喜 松本　常男	田中　伸幸 田口　耕太郎 神谷　正喜
画像診断科	画像診断 等		松本　常男			松本　常男
呼吸器外科新患外来		井野川　英利		沖田　理貴	岡田　真典	
呼吸器外科・外科	肺がん	沖田　理貴 岡田　真典		井野川　英利 岡田　真典	井野川　英利 沖田　理貴	
乳腺・消化器外科	胃がん・ 大腸がん等	平澤　克敏		平澤　克敏 （午前中のみ）		平澤　克敏 （手術で不在の場合あり）
小児科	重症心身障害児（者） 発達障害児（15歳まで） ※予約制		奥田　裕美	奥田　裕美		奥田　裕美
精神科	てんかん 等	小野　光弘		小野　光弘	小野　光弘	小野　光弘

※下記診療科は入院患者のみ診療

消化器内科	内視鏡 等 ※午前中のみ				松本　俊彦	
循環器内科	9時30分～12時30分	佐野　元昭			民谷　正輝	
神経内科	13時～			神田　創		
耳鼻いんこう科	13時～			西村　省吾		
皮膚科	14時～				杉本　紘子	
整形外科	リウマチ・骨粗鬆症 等 午前のみ					藤本　和弘
歯科	13時～		白石　麻美	野田　健人		

❶外来受付時間：午前8時30分～11時30分　【外来診療開始時間：午前8時45分～】
※内科新患外来：午前9時30分～11時00分 ／ 内科紹介外来：午前9時00分～11時00分

❷再診の予約受付は、医療事務室までお問い合わせください。

❸CTの外来紹介は、地域医療連携室（内線2452）までご連絡ください。

＼患者紹介に関するお問い合わせは、地域医療連携室まで／

地域医療連携室

受付時間／毎週月～金曜日（祝日及び年末年始を除く）　8時30分～17時15分
TEL（0836）58－4100　FAX（0836）58－2938